

2026年度 卒業後アンケート調査結果

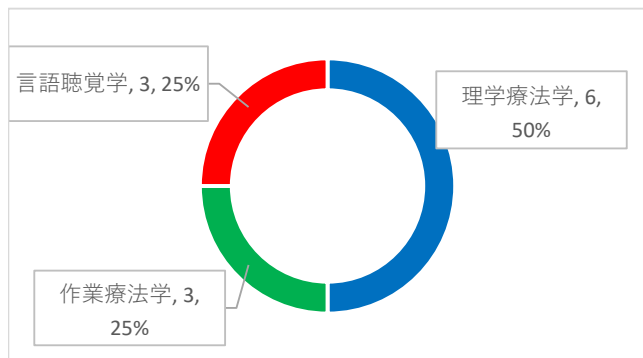
〔目的〕 本学の教育内容が、卒業後の就労や臨床においてどのように活かされているのか。
また、施設や支援等のサービス面に対する「満足度」はどうであったか。これらを明らかにすることで、
教育内容やサービスの向上を図ることとしています。
卒業生の皆様が持たれている意見や感想をアンケートにて調査し、調査結果を基に、教育活動等の
改善に取り組み、学生の「満足度」向上を目指します。

〔対象〕 第12期～第16期生(2021年～2025年3月卒業生)

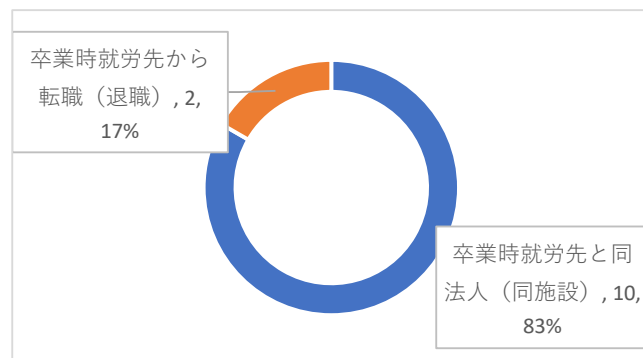
〔実施時期〕 2026年8～9月

〔回答数〕 12件

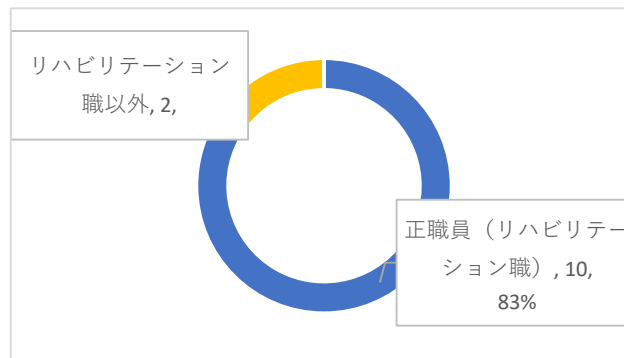
1.卒業専攻名



2.就労の状況



3.就労の雇用形態

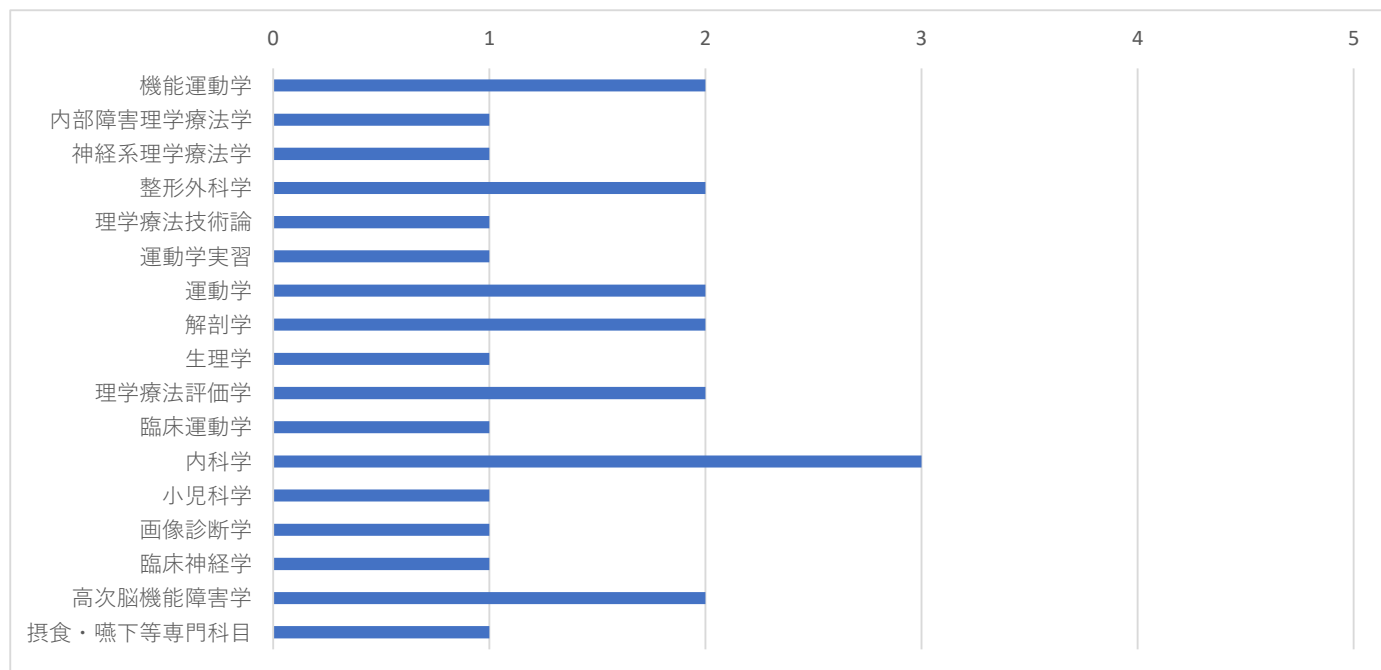


4.勤務先名称

和歌山生協病院	1
ペガサスリハビリテーション病院	1
ダイダンサービス関西	1
藤井病院	1
野上病院	1

ボバース記念病院	1
中谷病院	1
河西田村病院	1
岸和田リハビリテーション病院	1
もりぐち清水会病院	1
不明	2

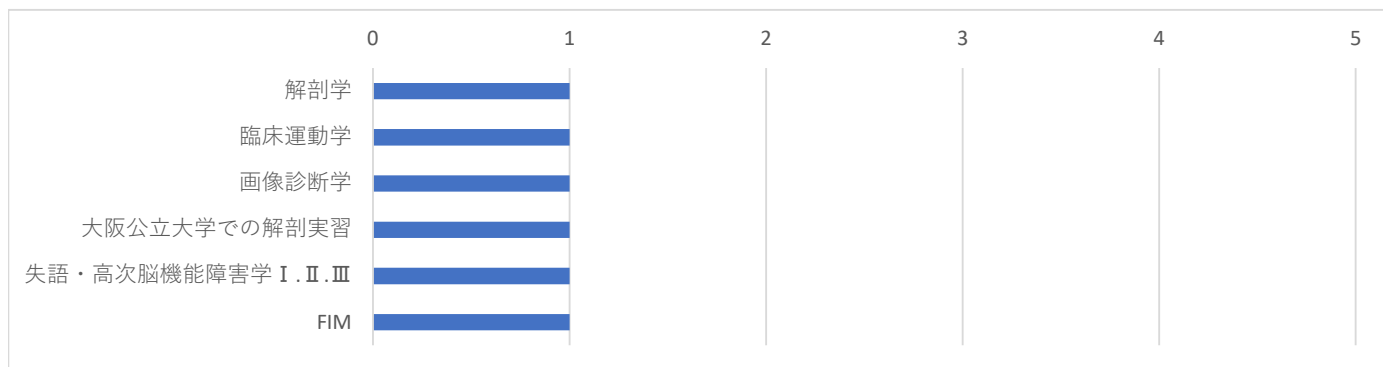
5.社会に出て、特に活用できていると感じる科目 (カリキュラム表から3つまで選択可)



5.社会に出て、特に活用できていると感じる科目(その理由)

- ・動作向上のために正常な機能運動の理解
- ・リハビリにおける状態理解においてリスク管理ができる
- ・脳神経の役割や下行路を理解することで、高次脳機能障害や運動麻痺が生じるメカニズムを理解しやすくなる。
- ・先輩と話す際に役立っている
- ・力仕事をするから
- ・患者様の治療に向けて正常とは逸脱した課題点を見つけ出し、どのようなアプローチが必要であるか考える時の一連において。
- ・実際に臨床に出て思うことは、リハビリの内容よりも患者様の安静度や疾患名で決まる事を事前に知っておく事が大切だと感じるから
- ・小児領域専門の病院のため
- ・画像診断はどの領域でも治療方針決定には必要のため
- ・普段見られないようなことが役にたった。
CT、MRI、画像診断などを就学時に学べたことがよかったと思う。
- ・臨床時
- ・臨床では高次脳機能障害、摂食・嚥下などをよくみています。
そのため、基礎からの知識が学べたので活用できているかなと感じています。
- ・患者様と関わる上で必要

6.カリキュラム内で、もっと学んでおいた方が良かった事(科目)



6.カリキュラム内で、もっと学んでおいた方が良かった事・科目（その理由）

・解剖学

理由：難しく、覚えられないため、諦めそうになっていた。

・臨床運動学

理由：この筋肉や骨がこのような働きをするから、この症状や動きが生じると結び付けて学ぶことで、臨床がもっと楽しく感じられたのではないかと思います。

・画像診断学

・大阪公立大学での解剖実習

理由：ご献体をみたことが、臨床医学を学ぶ上でとても役立ったと思う。

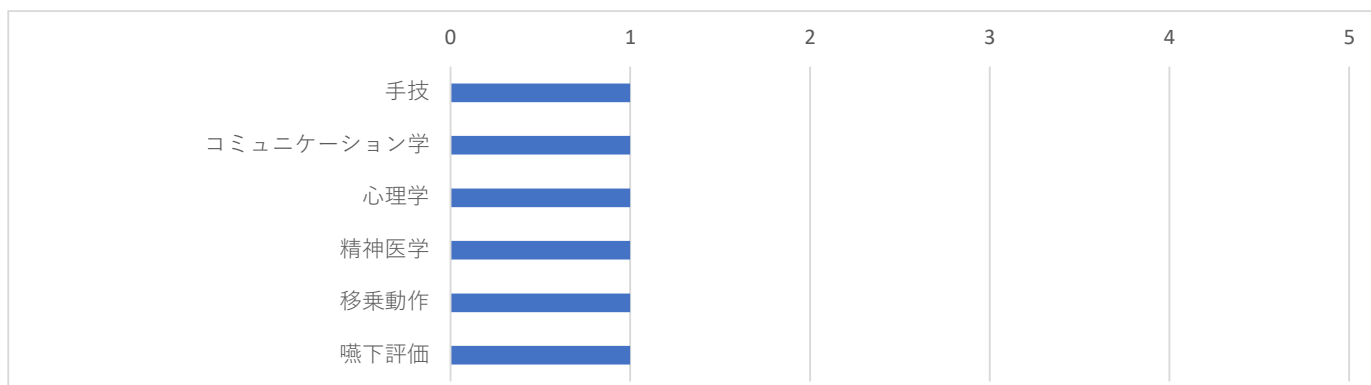
・失語・高次脳機能障害学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

理由：習ったことをすぐに臨床で活かせる。教科書通りの症例が多く、卒業後も教科書に助けられている

・FIM

理由：患者の評価でよく使います。あまり学校では学ばなかったので、今とても苦労しています。

7.社会に出て、カリキュラム以外に、学べたら良かった事・科目



7.社会に出て、カリキュラム以外に、学べたら良かった事・科目(その理由)

・患者様それぞれ、性格、環境は違うのでその人にとって正解、不正解はそれぞれあると思います。

そのため、たくさんの人と話して身につける、慣れることはもっと学べば良かったと思います。

・ご献体の見学等があれば、再度参加したいです。

・リハビリ内容についての授業があればよかった

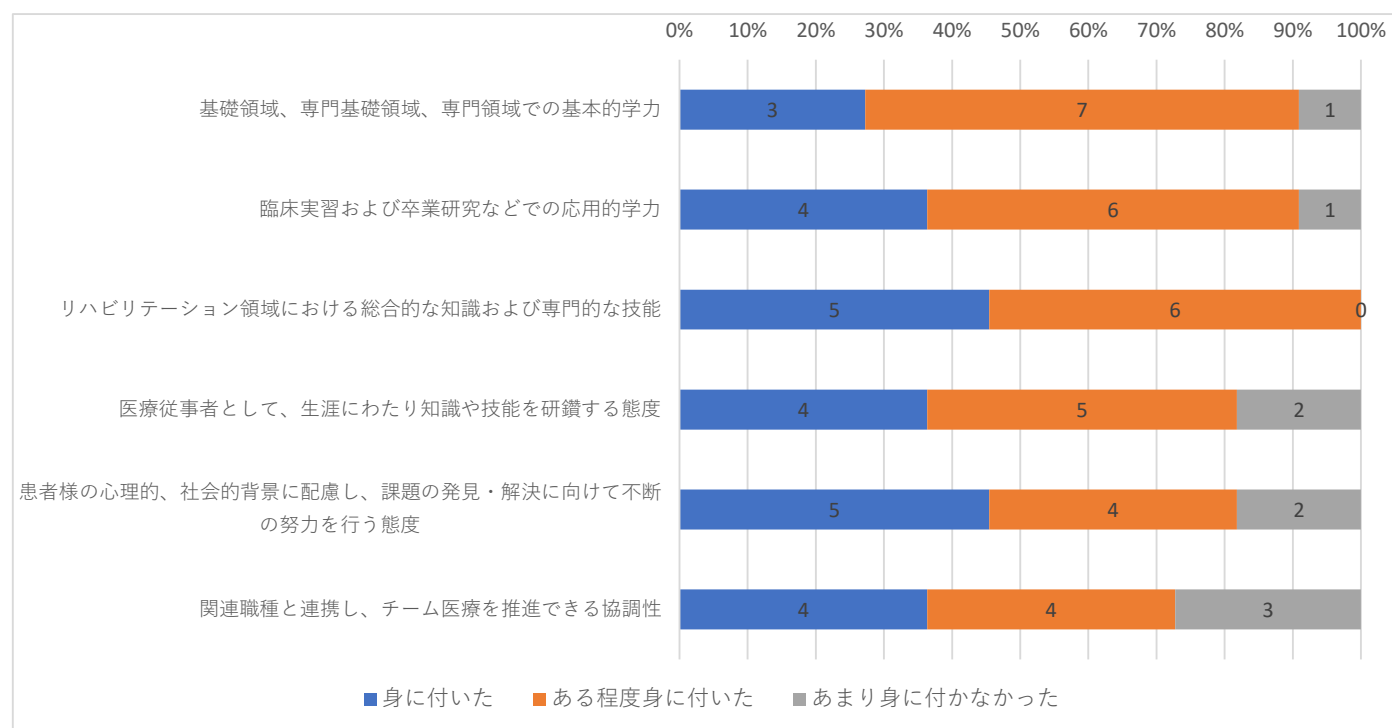
・カリキュラムとして足りない科目はないと思いますが、主に基礎科目ではもっと臨床に寄せた学習があれば良かったと感じています。

・臨床で働くと移乗動作などわからないことが多い。もう少し臨床に近い授業をしたいと働いてから実感した。

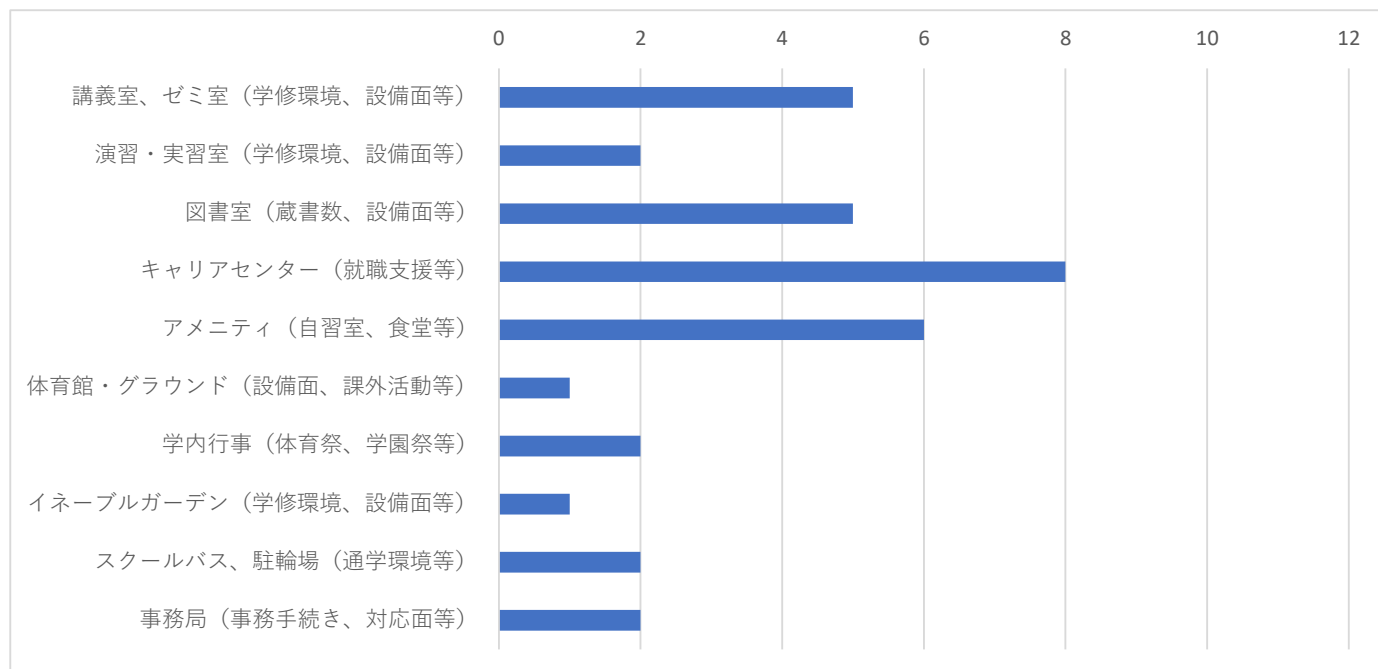
8.本学の教育により「学修成果」として能力・資質がどの程度身に付いたか

	身に付いた	ある程度身に付いた	あまり身に付かなかった
基礎領域、専門基礎領域、専門領域での基本的学力	3	7	1
臨床実習および卒業研究などでの応用的学力	4	6	1
リハビリテーション領域における総合的な知識および専門的な技能	5	6	0
医療従事者として、生涯にわたり知識や技能を研鑽する態度	4	5	2
患者様の心理的、社会的背景に配慮し、課題の発見・解決に向けて不断の努力を行う態度	5	4	2
関連職種と連携し、チーム医療を推進できる協調性	4	4	3

*全項目について未回答者1件



9. 本学の施設や支援等のサービス面に対し、満足できたもの(複数選択可)



10. 本学の施設や支援等のサービス面に対し、満足できなかった点

- ・全て満足のいくものでしたが、特にと思うものにチェック付けさせていただきました。
- ・自由に仕える部屋を増やして欲しい。
- ・利用したものは基本的に満足しています
- ・特にありません。2件

11. 最後に、卒業生として大学への要望等(自由記載)

- ・食堂がすごく充実していて最高でした！
- ・素晴らしい学校だと改めて思います。ですが、学年それぞれ担任があると思います。
一人の先生が頑張るのではなく、全員の先生方が一致団結して、一つの目標に向かい、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士になるサポートをするべきだと、4年生時に感じました。
国家試験は受かります。全力で勉強して、これからも頑張っていたきたいと思います。
- ・今後も連絡事項などあれば、細目にメール等頂けると幸いです。よろしくおねがいします。
- ・より質の高い授業や指導を受けられるように、教育内容の充実を望みます。
- ・これはどこの養成校でも同じかと思いますが、国家試験に合格するための勉強と、就職した後に必要な勉強はかなり違うと思っています。
特に基礎科目では臨床に出て自ら勉強することが多いです。そしてそのクオリティを実習で求める病院も多いと思われます。
国家試験の合格のためが最優先ではありますが、就職後に一医療従事者として現場に立つ際、今後の学生たちが困らないような教育をしていただけたらと思います。よろしくお願いします。